



安全指針

オリンピック大会に参加する生徒は、化学実験室で実験を行うことができるように、その際、規則を守り、安全面に十分配慮するようにしなければならない。オーガナイザーは、オリンピック大会期間中、IChO規則の付録Aに記された安全に関する規則を守るように生徒に強く言うことになるでしょう。

準備問題（実験）は、十分な能力を持つ監督者立会いのもとで、設備の整った化学実験室において実施すること。各国でさまざまな規則や安全に対する考え方、指導方針があると思われる。メンターは注意深く問題に適応しなければならない。

実験で使用する物質に関わるGHS危険性警告の記号(H則)が、各問題で記されている。その意味は以下のとおりである。

（物理的危険性）

- H225 かなり燃えやすい液体やガス
- H226 燃えやすい液体やガス
- H228 燃えやすい固体
- H271 強い酸化剤、発火や爆発を引き起こす可能性あり
- H272 酸化剤、火の勢いが増す可能性あり
- H290 金属を腐食させる

（健康面での危険性）

- H301 飲み込むと中毒になる
- H302 飲み込むと有害である
- H304 飲み込むと死に至る
- H311 皮膚に触れると中毒になる
- H312 皮膚に触れると有害である
- H314 深刻な皮膚のやけどや目の損傷を引き起こす
- H315 皮膚の炎症を引き起こす
- H317 皮膚にアレルギー反応を引き起こす
- H318 深刻な目の損傷を引き起こす
- H319 深刻な目の炎症を引き起こす
- H331 吸引すると中毒になる
- H332 吸引すると有害である
- H333 吸引すると有害である可能性あり
- H334 吸引すると、アレルギー症状やぜんそく症状、呼吸困難を引き起こす
- H335 呼吸器系の炎症を引き起こす



- H336 眠気やめまいを引き起こす
- H351 がんになる疑いあり
- H361 繁殖ができない、子供が生まれなくなる疑いあり
- H371 臓器損傷を引き起こす
- H372 長期に／繰り返し暴露されることで臓器損傷を引き起こす
- H373 長期に／繰り返し暴露されることで臓器損傷を引き起こす可能性あり

(環境面での危険性)

- H400 水生生物に重症の中毒を引き起こす
- H402 水生生物に有害である
- H410 水生生物に対し、長きにわたって重症の中毒を引き起こす
- H411 水生生物に対し、長きにわたって中毒を引き起こす
- H412 水生生物にとって、長きにわたって有害である